

TOKYO DOME HOTEL

弱酸性ヘアエステ

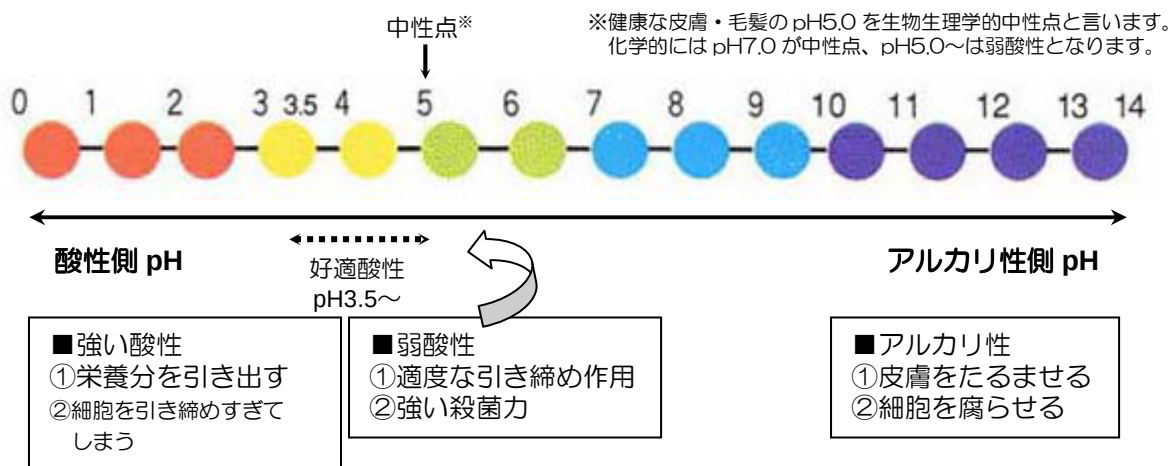
東京ドームホテル5階にある「山崎伊久江美容室」には、「ベル・ジュバンス弱酸性美容法」を使用した、ホテル内美容室では珍しい“ヘアエステ”があります。「ベル・ジュバンス弱酸性美容法」は、ヘアエステとパーマの両方に使用できる、同美容室オリジナルのトリートメントローションを使用した美容法。引き締め作用と殺菌力により、ツヤのある健康な髪に導きます。

頭皮や毛髪はアルカリ性に弱いタンパク質、皮膚と同じ“弱酸性”

人の皮膚が“弱酸性”ということは昨今常識となってきましたが、これと同じく、皮膚とつながっている頭皮や毛髪も“弱酸性”、pH 数値で言うと 5.0 前後とされています。

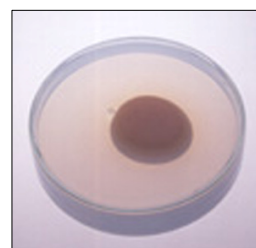
しかし、一般的にヘアケアやスキンケアで使う製品は、アルカリ性のものを使用していることが多く、アルカリ性に弱いタンパク質から成る皮膚や毛髪との相性はあまり良くありません。下図のように、皮膚がアルカリ性の影響を受けると、細胞の代謝を妨げる働きにより、毛穴が老廃物で詰まり酸欠状態に。皮膚をたるませ、老化を促進する原因となります。“パーマをかけると髪が傷む”のは、毛髪の外側を守るキューティクルが膨らんで隙間ができ、そこから髪の脂分や水分が抜け出てしまうからなのです。また反対に、酸性が強すぎても、皮膚や毛髪の栄養分を引き出してしまい、カサカサに。フケ、かゆみなどの原因にもなります。一方、弱酸性の場合はキューティクルを適度に引き締める効果により、髪 1 本 1 本の表面を滑らかに、ツヤのある健康な髪に導きます。

【皮膚・毛髪の成分“タンパク質”に対する性質】

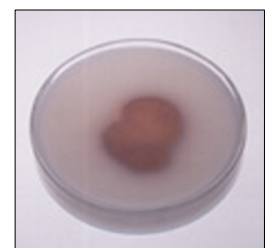


実際、どのような変化が見られるのか、卵の黄身（毛髪と同じタンパク質で出来ているため）の実験をご紹介します。

右の写真は、卵の黄身に「山崎伊久江美容室」の弱酸性パーマ液と、アルカリ性パーマ液を入れて、30 分間（パーマ液を髪に塗布している目安時間）放置した後のものです。弱酸性液の黄身は酸性により引き締まりますが、アルカリ性液の方は膨潤し、腐り濁っています。



弱酸性パーマ液



アルカリ性パーマ液

弱酸性ヘアエステによる頭皮の引き締めがお肌のハリを導きます

弱酸性ヘアエステの考え方は、“体内を綺麗にして肌や髪を健康にする”ということ。アルカリ性薬液の場合、頭皮がたるむことにより、顔のお肌にも影響を及ぼしますが、弱酸性は頭皮を引き締める効果により、顔のお肌までリフトアップ、“ハリ”のあるみずみずしいお肌へと導きます。一般的に、美容師の手は毎日のシャンプーなどでザラザラとかわかれています。弱酸性は体の中から“綺麗”を実現します。

実際に同美容室の弱酸性ヘアエステをご利用になったお客様の声（右記）をお聞きください。

＜お客様の声 一例＞

※お客様個人の感想です

- 頭皮が上に引っ張られているせいか、頭が軽くなる。頭皮の色が明らかに変わったのにはビックリした。
- （コシがない髪だったのに）適度なコシが出てきてスタイリングしやすくなった。
- 抜け毛の量が減った。
- 肩こりが治った。
- 施術してもらった日は良く眠れる。

山崎伊久江さんの“弱酸性” STORY

さて、このように、体内から綺麗にする“弱酸性美容法”を確立した山崎伊久江さんですが、そこに至るまでには数々の苦難もありました。

1936 年 お茶の水美容女学校卒業

実は学校の教師を目指していた山崎さん。当時まだ美容師のことは“髪結い”と呼ばれていた時代に、先生から「あなたが“美容師”になると大勢の人が喜ぶ」と言われ、髪から始まる美容の専門家を目指すことに。

1948 年 弱酸性美容法の研究に着手

“美しくなるためのパーマで髪が傷むなんて納得いかない”と、アルカリ性パーマ液そのものに疑問を持ち、皮膚や毛髪と同じ“弱酸性”に着目。
ある時、仕事の縁で知り合った東大の教授に、当時のパーマ液を検査してもらおうと、「美容の世界ではこんなに強いアルカリ液を皮膚に使うのか!？」とビックリされたそう。当時は、pH9.0 以上の強いアルカリ液でないとパーマはかからないと言われていた…。

1959 年 天皇陛下ご婚礼の折、美智子皇后の十二単紋者の助手として宮中に参内

1961 年 毛髪研究の進んでいるヨーロッパへ視察

ヨーロッパの美容界では 10 年前に、“弱酸性ではパーマはかからない”という結論に達しており、山崎さんと同様の研究をしている人はいなかった。ちなみに、この滞在中に知り合ったフランス人青年が、山崎さんの研究を応援し、フランス語で「美しく、若々しく」という意味の「ベル・ジュバンス」と名づけたそう。

1963 年 弱酸性美容法の確立、「ベル・ジュバンス」完成 厚生省（現 厚生労働省）に「弱酸性トリートメントローション」として認可される

1968 年 「ヘアスタイリングの基礎技術」の確立

1974 年 自分の髪で結い上げる新感覚のオリジナル日本髪として「やまと髪」を考案

1991 年 フランスの文化人類学者ロランス・カイエ女史著「ラ・メゾン ヤマザキ」で、世界に広くその名を紹介される

弱酸性ヘアエステ施術 STEP

- ①まず、200 倍のマイクロスコップで普段のままの頭皮をチェック。自分ではしっかり手入れしているつもりでも、拡大すると意外に汚れていることが判明。
- ②弱酸性シャンプーで洗浄。シャンプー剤も私たちの肌や髪にとって弱酸性なので、洗いながら肌や髪を優しく引き締め、自然な洗い上がりになります。
- ③ヘアエステ第 1 剤（還元剤）を塗布。通常のトリートメントは脂分を与えるものですが、同美容室では内面から働きかけ、毛穴の汚れや地肌の角質を浮き上がらせる効果も。pH は 4.5 に調節。
- ④第 1 剤の塗布が終わったら、全体をタオルで巻いて 10～15 分間休憩。この間に成分が浸透し、頭皮を潤わせながら、①のマイクロスコップで見た汚れなどをじわじわと浮き上がらせます。ちなみに、パーマをかける場合は、ここでロットを巻きます。あとの手順はヘアエステと同じです。
- ⑤ヘアエステ第 2 剤（酸化剤）をホースで流しながら髪と頭皮のマッサージを 20 分。第 1 剤で浮き上がらせた汚れを取り除き、頭皮が呼吸できるようにします。ホースで流しながら塗布する第 2 剤の pH は、センサーでチェックし、調整液を使って pH4.0 前後をキープ。その人に適した酸性値にするため、毛髪や肌の状態によって微妙に変化させます。
- ⑥軽く洗い流し、ブローして終了。



⑤ヘアエステ第 2 剤をホースで流しながらマッサージ

店舗のご案内

- 店 舗 名 山崎伊久江美容室
- 場 所 東京ドームホテル 5F
- 電話番号 03-5805-2263（完全予約制）
- 営業時間 10:00～19:00
- 席 数 【ヘアサロン】5 台（シャンプー台含む）
【エステサロン】6 室

婚礼施設の集まるホテル 5 階、上質な雰囲気漂う山崎伊久江美容室は、大きくヘアサロンとエステサロンに分かれています。エステサロンは約 6 畳の広々とした個室 6 室からなり、新婦支度室としてもお使いいただけます。ヘアエステは弱酸性トリートメントですが、フェイシャル、ボディ、バック、フットケアは

フランスのサロンケアブランド ドクタ・ルノーを使用しています。ドクタ・ルノーの製品はおひとりおひとりの肌が求める症状に最も応えることのできる植物成分を贅沢に配合。角質を取り除き肌のきめを整えながら、弾力を与えるリフレッシュエステで、透明感のあるくすみのない明るい肌へ導きます。ヘアサロン、エステサロンとも完全予約制ですので、ゆったりとくつろぎの時間をご満喫いただけます。

本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先

東京ドームホテル

総支配人室 広報担当

〒112-8562 東京都文京区後楽 1-3-61

TEL.03-5805-2151 FAX.03-5805-2153

URL <http://www.tokyodome-hotels.co.jp>